

令和6年度 香芝北中学校 部活動に係る活動方針

1. 部活動の意義及び目的

- 香芝北中学校の部活動は、学校教育の一環として、スポーツや芸術文化等に関心を持つ同好の生徒が教員等の指導の下に、自発的・自主的にスポーツや文化活動を行うものであり、より高い水準の記録や技能の習得に挑戦する中で、スポーツや文化活動の楽しさや喜びを味わい、学校生活に豊かさをもたらす意義を有している。
- 部活動は、生徒が授業で体験し、興味・関心を持った事柄をさらに深く体験するとともに、授業で身につけた技能等を発展・充実させることができるものであり、逆に、部活動での成果を授業で生かし、他の生徒にも広めていくこともできるものである。
- 部活動は、自主的に自分の好きな分野での活動に参加することにより、スポーツや文化活動に生涯親しむ能力や態度を育てる効果を有しており、あわせて、体力の向上や健康の増進を一層図るものである。その上、生徒の自主性、協調性、責任感、連帯感等を育成し、仲間や教員（顧問）等と密接にふれあう場として大きな意義を有するものである。
- このように、部活動は、生徒のスポーツや文化活動と人間形成を支援するものであることはもとより、その適切な運営は、生徒の明るい学校生活を一層保障するとともに、生徒や保護者の学校への信頼をより高め、さらには学校の一体感の醸成にもつながるものである。

2. 学校の部活動に係る活動方針の策定

- 本校では、スポーツ庁策定「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」、文化庁策定「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」、「奈良県部活動の在り方に関する方針」及び「香芝市立学校に係る部活動の方針」を踏まえ、本校生徒の健やかな成長や教員の負担軽減を図り、部活動がより一層有意義な活動となるための指針として、本校部活動を対象とし、「香芝北中学校 部活動に係る活動方針」を策定する。

3. 適切な運営のための体制整備

- 校長は、香芝市教育委員会の方針に則り、毎年度、「香芝北中学校 部活動に係る活動方針」を策定する。部顧問は、年間の活動計画並びに毎月の活動計画及び活動実績を作成し、校長に提出する。
- 校長は、自校の活動方針及び年間の活動計画等を学校のホームページへの掲載等により公表する。

4. 指導・運営に係る体制の構築

- 指導内容の充実、生徒の安全確保、教員の長時間勤務の解消等の観点から、原則、複数顧問配置とするなど、円滑に部活動を実施できるよう、適正な数の運動部及び文化部を設置する。
- 本校の実態に応じて、部活動指導員や外部指導者等を積極的に活用する。
- 生徒や部顧問の負担が過度とにならないことを考慮して、各部では参加する大会等を精査する

5. 適切な活動時間・休養日等の設定

- 活動時間
 - ・準備運動等の開始から整理運動の終わりまでを目安とする。
 - ・平日は2時間程度、休業日は3時間程度（長期休業を含む）とする。
 - ・早朝練習は上記記載時間に含む。
 - ・学年別等の分散活動を行う場合全体としては上記記載時間と異なるが、生徒ひとりに対する活動時間は上記記載時間とする。
- 休養日
 - ・学期中は、原則、週当たり2日以上（うち、週休日 1 日以上含む）の休養日を設ける。（週休日に大会やコンクール、コンテスト、発表会等に参加した場合は、他の日に振り替えて休養日を設定し、月間8日以上、年間104日以上休養日を設ける。）
 - ・長期休業中の休養日の設定は、学期中に準じた扱いを行う。また、生徒が十分な休養をとることができるとともに、部活動以外にも多様な活動ができるよう工夫する。

6. 安全管理・体罰等の根絶

- 活動の前後だけでなく、活動中にも生徒の様子を観察し、健康状態の把握に努める。また、生徒一人一人の心と体の状態等に応じた指導を心がける。
- 定期的に施設・設備等の安全点検を実施し、破損等があれば使用中止、補修などの措置を速やかにとる。また、生徒に対して使用方法等について指導し、安全に活動できるようにする。
- 高温下での活動や急激な天候変化については、生徒の体調面を十分に配慮し、熱中症などの事故防止に努める。
- 「体罰・不適切な行為は重大な人権侵害であり、絶対に許されない行為である。」という認識のもと、学校全体で体罰等の根絶に向けた取組を推進する。

※参考「信頼される教職員であり続けるために（奈良県教育委員会 平成26年3月）